

学校薬剤師 災害時の対応

【担当者区分】 薬：学校薬剤師 学：学校関係者 行：行政 自：自治体関係者

平常時	確認担当者	確認チェック欄	確認内容
	学・行	☐	学校の備蓄状況の確認（避難場所として、受け入れ人数、及び備蓄内容の確認）
	薬・学	☐	学校環境衛生の実施（平時の状況を確認しておく）
	薬・学	☐	上水・下水・電気配線図 自家用車の駐車場配置
	薬・学	☐	使用不可の教室（職員室、理科室、音楽室、保健室など）は平時に検討
ブルーシート	学・行・自	☐	学校内の土足について検討、土足の場合はブルーシートで廊下や部屋を覆う
ゾーニング	薬・学・行・自	☐	受付、ゾーニングに従い割り振りする事について理解していただく
張り紙・ポスター	薬・学・行・自	☐	トイレ使用に関する取り決め
テープ・マジック	学・行・自	☐	張り紙（進入禁止・危険区域・使用不可・使用可など）とテープとロープ（荷造り用など）準備
ロープ・ひも	学・行・自	☐	発電機、多目的トイレ、TV、ラジオ、ダンボールベッドの準備
手指消毒剤	学・行・自	☐	手指消毒剤、環境消毒剤、ノロ対応消毒剤必要物資の準備 作り方、ボトル、配置場所（手袋・マスク・ナイロン袋・エプロンなど） 色分け・表示

避難袋（靴と一緒に枕元に置く）
水・食糧 3日分/1人（ペット用）
携帯電話、充電器、充電用ケーブル
くすり・ミルク・おむつ
【メモ】

災害発生時	確認担当者	確認チェック欄	確認内容
	薬	☐	個人の安全、家族の安全、職場の安全確認後、行動開始
	薬	☐	避難場所（学校）へ行く途中の道路、電柱、樹木、塀、水道破裂など異常がないか
学校到着	薬	☐	学校到着後、統括責任者へ挨拶 現場指導に入る 責任者は学校長から自治体へ移譲される
	学・行・自	☐	建物の安全確認実施（天井・かべの落下・柱の倒壊・ガラスなどの有無）
	学・行・自	☐	放送設備の使用ができるか
受 付	学・行・自	☐	受付用紙、筆記用具 （住所・氏名…家族ごと・病人・一人・子供のみ・ペットなど記載）
	学・行・自	☐	入室可能区域の校舎案内、割り振り、掲示ボード、情報収集と発信（連絡事項）
	学・行・自	☐	避難者への物品を渡す時間表示
	学・行・自	☐	非接触型体温計、手指消毒剤
	学・行・自	☐	ペーパータオル・ゴミ箱 個数 配置場所にカラーテープを貼る
	学・行・自	☐	プライバシー配慮の部屋確保
手指消毒剤	薬・学	☐	上水道・下水道の使用が可能か確認（直結水・高置水槽、下水・排水） 水が来ないと、下水が流れなければ別の方法考慮
液体せっけん	薬・学	☐	トイレ使用の可否（和洋式の確認）、履物はあるか 手洗いが可能か
照度計	薬・学・行	☐	夜間照明の確認 各種出入り口200Lx、運動場ナイター照明、マンホールトイレ・手洗い照明300Lx、
CO2モニター	薬	☐	換気状況の確認 CO2測定、冷暖房の有無
応急手当	薬・学・行	☐	傷テープ、包帯、ガーゼ、水、ナイロン袋

環境検査	項目	基準値
CO ₂	外気	400～500ppm
	公共施設	1000ppm
	教 室	1500ppm
照度	教室	500Lx
夜間照度	廊下	150Lx
	トイレ	150Lx
	体育館 （入口照明含む）	300Lx

自分の安全確認
家族（ペット） 職場 近隣
ドアの開閉・施錠・家・屋根・窓・家具 食器・TV・ラジオ
車・ガソリン・家庭用充電器（車用） 発電機（使用時は屋外必須、CO中毒防止）

消毒剤の選択と使用方法

	ノロウイルス	新型コロナウイルス	備 考
70%エタノール	×	○	スプレー後拭きのぼす
次亜塩素酸ナトリウム	○	○	一方向に拭く 10分後水拭き
洗剤	×	○	製品使用方法に従う

有効な次亜塩素酸ナトリウムの濃度

次亜塩素酸ナトリウム	ノロウイルス	新型コロナウイルス	作る時の物品
床・手すり・ドアノブ 直接手を触れた物・場所	200ppm (0.02%)	500ppm (0.05%)	水・ハイターなど ナイロン手袋 マスク エプロン
吐物・便などの汚染物 汚染物が直接付着した 物や場所	1000ppm (0.1%)		

調整方法 ★5%家庭用塩素系漂白剤（ハイター・ブリーチなど）使用の場合

濃度	200ppm	500ppm	1000ppm
ペットボトル	水500mL	水500mL	水500mL
キャップ (ハイター入れる量)	0.5杯	1杯	2杯

★家庭用漂白剤の濃度は経年、光などにより、濃度が低下する。（作り置きしない）

★汚物など有機物で消毒の効果が著しく低下するため、吐物や汚物を消毒液でよく拭いた後、再度調整した液で拭く事

モノに付着したコロナウイルス対策に活用できる洗剤 台所用洗剤（食器用洗剤）

①溶剤をつくる	500mLの水に台所用洗剤を小さじ1杯（5g）を入れ、軽く混ぜ合わせます。
②表面を拭きとる	キッチンペーパーや布などに①を含ませて、モノの表面を拭きとります。
③水拭き	拭きとって5分くらい経ったら、キッチンペーパーや布などで 水拭きします。
④乾拭き	最後にキッチンペーパーなどで乾拭きします。

臨時検査

＜時期を見て行う＞

☐	保健室・理科室	* 薬品容器の破損、紛失 * 薬品の液漏れ * 薬品戸棚の破損
☐	空気検査	CO ₂ ：1000ppm以下 温度：18℃～28℃ 学校CO ₂ ：1500ppm 湿度：30%～80% 必要に応じて、微風速、粉じん検査
☐	給水栓	遊離残留塩素濃度 0.2mg/L以上
☐	トイレ	換気・照明・手洗い・石けん・手指消毒剤・ゴミ箱
☐	ダニ検査	保健室、畳の部屋、絨毯の部屋など避難者が不在になってから検査 検査機器：マイティチェッカー、ダニスキャンなど

【メモ】